



家族でグラウンドゴルフが楽しめました



ボール転がしなどいろいろな体験できるミニスポーツストレッチスコナー

スポーツを楽しんだ一日

市スポーツフェスティバル

邑久スポーツ公園で10月12日、第4回瀬戸内スポーツフェスティバルが、瀬戸内市体育協会主催により開催されました。

秋晴れの空のもと、朝早くから大勢の家族連れが来場し、思い思いのスポーツを楽しみました。

会場では、グラウンドゴルフやミニスポーツ、ストレッチクス、ニュースポーツなどが行われ、参加者の皆さんは、思い思いのスポーツを気軽に体験。子どもからお年寄りまで、好きなスポーツでさわやかな汗を流していました。

緑深いオリーブの美しさを描く

来館者を魅了した佐竹徳絵画展

10月3～15日の13日間、名誉市民である佐竹徳画伯の絵画展が、黒井山グリーンパークゆうゆう交流館で開催され、市内外から2、823人が来場しました。

絵画展には、オリーブの緑や青い海が描かれた「オリーブのまど」など15点を展示。独特の色彩で描かれ

た絵画に、来館者は魅了され、熱心に見入っていました。この絵画展により、市の豊かな自然やその景観美、佐竹画伯の絵画の素晴らしさを広めることができました。また、地域の文化芸術が振興され、現在進められている市立美術館建設の機運が高まりました。



熱心に絵画を鑑賞する来場者

早く元気になってください

牛窓中学校生徒が病院訪問

10月8日、牛窓中学校（矢部憲正校長、生徒162人）の健康安全委員14人が、入院患者さんを元気づけようと瀬戸内市民病院を訪問しました。

生徒たちは、7月頃から準備した手作りのプレゼントを持参し、患者さんたち一人一人に「早く元気になってください」と手渡しました。プレゼントは「患者さんの笑顔の輪を広げよう」と全校生徒が

気持ちを入れて作ったもので、ペットボトルホルダー53個、小物入れ49個、絵日記風アルバム3冊に、それぞれ写真や詩、メッセージが書かれています。

プレゼントを手渡した後、生徒たちは校歌と「ふるさと」を患者さんたちの前で熱唱。患者さんたちも、歌と一緒に口ずさみ、楽しいひとときを過ごしました。



患者さんたちに歌のプレゼントをする牛窓中学校の生徒たち

未知なる自分発見隊

長船中学校2年生が3日間のチャレンジワーク

9月17～19日の3日間、長船中学校（中谷俊文校長、生徒451人）2年生159人が、チャレンジワークを行いました。

チャレンジワークとは、中学生が実際に職場に行き、そこで働き仕事への大切さや厳しさを学び、将来に役立てる学習です。今年のチャレンジワークのテーマは「未知なる自分発見隊」。

51の事業所の中から、瀬戸内市役所（広報せとうち）で職場体験を行った池上真琴さんと瀧川桂子さんが、取材をした「イズミゆめタウン邑久店」「瀬戸内市消防本部」の様子を伝えます。

イズミゆめタウン邑久店で職場体験をしている6人は、品出しや掃除、食品の整理をしていました。

その中の一人は、「任された仕事をやり遂げたときや自分が品出した食品が売れるこ



瀬戸内市消防本部で真剣に放水訓練に取り組んでいる4人の男子生徒



広報紙の原稿を作成中の長船中の池上さん(写真左)と瀧川さん(写真右)

とに楽しさや達成感を感じました」と感想を述べ、お店の人は「社会のルールを学んで、貴重な体験をしてほしい」と話していました。

職場体験2日目に取材した瀬戸内市消防本部では、4人の中学生が放水訓練をしていました。生徒たちは、消防本部の職員に注意されながらも、一生懸命に取り組んでいました。

職場体験の担当者は、中学生に対し「社会に出たときの対応ができるように、努力してほしい」と話していました。

【感想】

▼3日間この職場を体験してみて、緊張したり難しかったりといういろいろな事があったけど、貴重な体験ができて良かったです。

（池上真琴）

▼取材や構成など、頭を使うこともあったけど、写真を撮るなど楽しいこともありました。この職場で体験できて良かったです。

（瀧川桂子）



高原保健福祉部長からお祝い状を受け取る長尾さん

いつまでもお元気で

長尾敏子さんが満100歳に

10月8日に長尾敏子さん（牛窓町鹿忍）が、100歳を迎えました。手芸や編み物が好きな長尾さんは、お祝い状と記念品を受け取りました。

10月13日、原裕康備きで、孫やひ孫たち前県民局健康福祉課総括副参事や高原家直市に手作りの品をプレゼントしていた長尾保健福祉部長らがお祝いに手渡していました。

長尾さんは、長寿の秘けつは、入所しているあじさいのおか牛窓を訪れ、好きなものを食べて、お祝い状も受け取りました。

長尾さんは高原部でも食べることです。これからも、元気でお過ごしください。